

呉支部長が挨拶に立ち、逆風の選挙にあっても寺田先生を二貫して支援する」と姿勢を強調した。

続いて、山科透広島県歯科医師連盟会長より、何としても5区から寺田先生を国会に送る必要があること、民主党の「ニフエスト」についての見解等々のお話があった。さらに、寺田先生前衆議院議員による時局講演があり、財源に裏打ちされた予算立ての必要性、その

「寺田先生を励ます会」開催

7月25日(土)、呉市医師会館5階講堂にて、三師会協同による寺田先生を励ます会が開催された。

会場は300人を楽に収容できる講堂ではあったが、開会前に満席となり、講堂外に設置したモニタを行動させるほどの盛況であった。

開会の後、日本医師連盟執行委員の高杉敬久広島県医師連盟副委員長と、山科透広島県歯科医師連盟会長から、ご来賓のご挨拶をいただいた。続いて、寺田先生より、次期衆議院議員選挙に向けての決意表明を含めた講演があった。講演中、寺田先生夫人も壇上で起立し、講演後には丁寧な挨拶があった。

中での社会保障制度の充実、オンライン化問題に対する見解などが取り上げられた。旧大蔵省主計局出身であり、予算編成の苦勞を、身をもって経験された寺田先生ならではの感があった。

講演終了後、足利明常任理事の音頭による「てらだコール」を、会場の連盟員全員で唱和し、厳しい選挙戦を勝ち抜く決意を新たにされた。

当日は、呉支部はもとより、5区に隣接する安芸、東広島、竹原豊田支部より支部長、副支部長等にもご臨席いただき、シユプレヒコールの際は、広島県歯科医師連盟常任理事の歌野原之東広島支部長の音頭で大いに盛り上がった。

前谷照男呉支部長の閉会の後、会館玄関で寺田先生が、来場者一人一人に丁寧に挨拶をされた。

また、他地区の「励ます会」と重複するためご臨席いただけなかった三原支部にも、寺田先生のご支援については最大限の協力をし、ご了解をいただくことができたことなど、大変有意義な会となった。

佐伯支部

「平口洋先生を励ます会」開催

7月27日(月)午後7時30分より広島サンプラザ2階「天王の間」において標記の励ます会が100名もの支援者が集うなか開催された。

新田栄治佐伯支部長の司会のもと、まず山科透連盟会長、荒川信介理事、森本克廣広島市支

部長、岡田信彦安芸支部長が来賓として紹介され、山科会長と森本広島支部長が挨拶を行った。続いて高橋秀樹広島支部(西)代表、榎林正夫佐伯支部長、角田収司大竹市支部長、二木由峰安芸支部(江田島市)代表がそれぞれ平口洋

候補者の健闘と自民党の勝利を祈る、激励の言葉述べた。そして平口洋前衆議院議員が支援に対する謝意と8月30日に来る選挙に対して決意表明を行った。最後に荒川理事長の音頭による「ガンバロウ」三唱、細川隆史佐伯(廿日市市)副支部長の閉会の辞をもって午後9時に終了した。

安芸支部

中川秀直先生を励ます会

7月12日(日)午後5時より安芸郡海田町「サンピア・アキ」に於て、中川秀直先生を励ます会が開催された。

沢村豊安芸歯科医師会専務理事の司会のもと、まず、県歯連盟副理事長であり安芸支部支部長でもある岡田信彦安芸歯科医師会会長より挨拶があった。続いて、来賓とし

ておいでいただいた石井みどり参議院議員と荒川信介県歯連盟理事長それぞれより挨拶があり、中川秀直先生支援のお願いを熱く語られた。

引き続き、中川秀直先生の講演に移り、混迷する政局の中でのご自身の確固たる決意を語り、この衆院選挙を勝ち抜いていく為に是非とも皆さんの大きなご支援を賜りたいとのお願いを述べられた。

安芸歯科医師会、東広島歯科医師会より大勢の会員の参加があり、熱気あふれる励ます会となった。最後に、県歯連盟東広島支部支部長の歌野原之東広島市歯科医師会会長の閉会の挨拶をもって終了した。



講演する中川秀直氏

東広島支部

「中川秀直先生を励ます会」開催

東広島地区の医師会・薬剤師会・歯科医師会で行く東広島三師会協議会の主催で、7月22日(水)午後7時30分より中川秀直先生を励ます会が東広島保健医療センター大会議室で開催された。中川先生は120人を超える参加者の前で、今の国政の問題点や自由民主党の考えやご自身の目指す日本について熱く語られた。1時間30分近くの講演であったが、席を立つ方もなく、参加者

の皆様が政治に対し非常に強い関心をお持ちであり、また中川先生のご活躍に大きな期待をされていることがわかった。今後中川先生には確実に公約履行していただけるようがんばっていただきた。

躍に大きな期待をされていることがわかった。今後中川先生には確実に公約履行していただけるようがんばっていただきた。

大竹支部

平口洋先生を励ます会

7月21日(火)の麻生太郎首相による衆議院解散、8月30日(日)の総選挙をうけ、7月27日(月)午前中、全国遊説中の石井みどり参議院議員が大竹を訪問された。同日午後7時30分から広島市西区の「広島サンプラザ」に於て、広島県第

2選挙区から立候補予定の前衆議院議員平口洋氏の激励会が大竹、佐伯、広島西、安芸(江田島)の歯科医師連盟員が多数参加のもと、石井みどり参議院議員、山科透広島県歯科医師連盟会長、その他多数の来賓を迎え執り行われた。

御調・世羅支部

「小島敏文氏を励ます会」開催される

7月25日(土)世羅町せら文化センターに於て午後5時より、広島県第6選挙区の連盟各支部(庄原、三次、神石、府中地区、御調・世羅、三原、尾道、因島)より多数の連盟員、家族、従業員他の参集のもと自民党公認小島敏文氏を励ます会が開催されました。

当日は大雨警報、注意報などが出される足許の芳しくない状況のなか、県歯連盟より荒川信介理事が励ます会は三次支部向井浩明の司会のもと第6選挙区支部代表瀬山淳先生のご挨拶があり、続いて荒川信介理事長、石井みどり参議院議員より激励の挨拶。小島敏文氏の決意表明の後、ガンバロウ三唱があった。宗永泰一尾道支部長の閉会の挨拶をもって盛会のうちに終了しました。

事長にご出席いただき、また、県内一広い選挙区内より連盟支部員等120名余の参加のもと、第45回衆議院選挙に向けての小島敏文氏より力強い決意表明がなされました。小島氏は広島県議会議員25年の実績をもとに、「本気!元氣!やる気!」と「6区を変えにやいけん」をスローガンに掲げ、日本国発展とふるさと地域発展のために精一杯努力する旨を表明されました。

励ます会は三次支部向井浩明の司会のもと第6選挙区支部代表瀬山淳先生のご挨拶があり、続いて荒川信介理事長、石井みどり参議院議員より激励の挨拶。小島敏文氏の決意表明の後、ガンバロウ三唱があった。宗永泰一尾道支部長の閉会の挨拶をもって盛会のうちに終了しました。



決意表明中の小島敏文氏

「小島敏文氏後援会事務所開き」行なわれる

8月2日(日)午前10時30分より、世羅町西上原において神事に続き小島敏文氏後援会の事務所開きが行なわれました。従前の県議会議員時の

後援会が再編され国政へ向けての始動となりました。当日は、事務所に入りきれないほどの後援者、支持者を前に溝手顕正参議院議員、吉井清介広島県議会議員他の激励の挨拶があり、熱気で溢れんばかりとなりました。

衆議院総選挙へむけ

府中支部

「宮沢洋一氏を励ます会」開催される

7月31日(金)午後7時30分より「自重堂ふれあいセンター」に於て、宮沢洋一氏を励ます会が開催された。政権与党の大逆風がささやかれる中、熱心な府中地区歯科医師会会員、従業員、その他関係者の出席を得て、一致協力し全力を挙げて宮沢氏を応援することを改めて感じさせる有意義な会となった。

皆様、御存じの通り第45回衆議院総選挙が8月18日公示、8月30日投票となりました。今現在、新聞、マスコミ等の報道をみてみますと、自民党の支持率は相当低い状況のようですが、民主党支持率とは、だいぶ差があるように思われます。逆の意味で、小泉政権下での前回の衆議院総選挙を思い浮かべますが、ここで皆様に冷静に考えて戴きたいと思えます。

ここに集まっておられるのは歯科関係の方ばかりです。日本歯科医師連盟も広島県歯科医師連盟も自民党を支持致しております。この事は、長期に政権を担当してきた自民党とは、歯科医師会と太いパイプがあるという事だろつと思えます。民主党には殆ど歯科医師会とのパイプはないと思われまます。私達の命の綱である保険制度は密接に政

治と絡んでおります。小泉政権時には「骨太の改革」ということで医療費を不当に下げられました。2年前には歯科はプラス改正となりました。もし、民主党が政権をとつたのなら、医療費がどのようになるのか全く未知数であります。

今の状況は、例えば悪いかも知れませんが、魚釣りにたとえますと、魚を釣るとき、まず撒き餌をしますが、撒き餌では自民党は民主党に負けてしまっておりまます。魚は民主党に集まっております。一つの竿に二人も三人もおり、魚を釣り上げるタイミングが合わない状況だろつと思えます。それに較べ自民党の釣り手は一つの竿に、色々ありましたが、一人の釣り手です。魚をなんとか釣り上げている状況かなと思っております。しかし、魚は圧倒的に民主党に集まっておりますので、自民党が厳しい状況に代わりはありません。

どうか皆様、このたびの衆議院総選挙、是非とも比例区は「自民党」、7区は「宮沢洋一氏」繰り返して述べますが、比例区は「自民党」、7区は「宮沢洋一氏」を強く推して戴くことを心よりお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。



決意表明する宮沢洋一氏

なお、以下に当支部の小西支部長の挨拶を掲載する。

(小西支部長挨拶)
府中地区歯科医師会の先生方並びに従業員、ご家族の皆様、また歯科衛生士の皆様、本日は、平日の夜のお忙しい中、「宮沢洋一氏を励ます会」に多数御出席戴きまして誠に有り難うございます。また、来賓として、広島県歯科医師連盟副会



お礼の挨拶をする小島敏文氏

平成21年度

第1回理事会

8月1日(土)午後3時よりANAクラウンプラザホテル広島3F「オーキッド」において標記理事会が開催された。森本克廣副会長の開会の辞で始まり山科透会長より「本日はお集りいただきありがとうございます。」と挨拶。7月31日に第7回参議院比例代表選挙候補者選考委員会において単一候補者に高嶺明彦氏の推薦が承認された。日歯・日歯連盟共同で次期診療報酬、レセプトオンライン化、口腔保健法早期制定などいろいろの問題点を自民党選挙公約への要望書を提出していたが、昨日発表された自民党のマニフェストに8020に選挙は決まっている。



平成21年度 第1回理事会 (8/1)

平成21年度

第2回理事会

10月20日(火)午後6時より県歯会館4F「役員会議室」において標記理事会が開催された。徳久行夫副会長の開会の辞で始まり山科透会長より「本日はお集りいただきありがとうございます。」と挨拶。算要求を政権与党と交渉に入っている。県知事選挙への対応について協議していききたい」と挨拶があった。次に荒川信介理事長より次の報告があった。

- (1) 一般事務報告
 - (2) 中央情勢報告
 - (3) その他
- 続いて協議事項に入り、県知事選挙の対応について協議し、原案どおり承認可決された。最後に徳久行夫副会長の閉会の辞で終了した。



平成21年度 第2回理事会 (10/20)

第53回県歯連盟評議員会



第53回県歯連盟評議員会 (8/1)

8月1日(土)午後4時よりANAクラウンプラザホテル広島3階「オーキッド」において標記の会が開催された。開催を前に、第45回衆議院議員総選挙候補者7名(岸田文雄氏、平口洋氏、増原義剛氏、中川秀直氏、寺田稔氏、小島敏文氏、河井克行氏)より、決意表明があり、山科透会長より候補者に「本日は7名の候補者をお招きして決意表明をしていただき、候補者のお話を聞いていただき、本当に自民党に厳しい環境であることが分かると思う。前回の参議院選挙では、我々の推薦した石井みどり先生が大変お世話になった経緯もあり、今回は恩返しの意味で協力していきたい。昨日日本歯科医師連盟の次期参議院選挙の候補者が決定したが、本年の選挙で、もし自民党が大敗すると、来年の我々の候補者擁立はどうなるかわからない。是非とも連盟員の先生方に

は、候補者の先生方を各診療所あるいは患者様を通じて支援していただくことを切に願っています」と挨拶があった。続いて評議員会が開催され氏名点呼の後、森本克廣副会長の開会の辞で始まり、議長に土江健也氏(広島)、副議長に吉光雅志氏(福山)が選出された。両氏の進行のもと、議事録署名者に横畑裕之氏(安佐)、角田隆氏(大竹)の両評議員が指名された。

次に山科透会長より「中央情勢報告であるが、日本歯科医師連盟の第7回目の選考委員会において次期参議院比例代表選挙候補者に沖縄の高嶺明彦先生が承認されたというところで、来年の参議院選挙に向けて、我々の代

- (1) 一般事務報告
 - (2) 中央情勢報告
 - (3) その他
- 続いて協議事項に入り、第53回評議員会の日程及び付議事項について協議し、原案どおり承認可決された。最後に徳久行夫副会長の閉会の辞で終了した。

産先生が承認されたというところで、来年の参議院選挙に向けて、我々の代

表として動き出すということになる。選挙までの日数が少ないので、積極的に活動していくことが重要になると思う。口腔保健法(仮称)は石井みどり議員が中心となっており、文言・法案・整備を行い、作り上げている。これは年代、階層を超えて口腔保健法と連携して歯科医療の推進につながることも記載されている。大きな視点に立って自民党を応援していかねばならないと思っている。

本日の評議員会の主眼は20年度決算の承認をいただくこと、また21年度の中間事業報告の承認をいただくということである。そして8月30日の選挙に我々が後悔しないような活動をしていただきたい

石井みどり議員 広島県を走る!



自民党支持を熱く訴える石井議員

我々歯科界の代表である石井みどり先生は、7月下旬に広島入りされ、精力的に広島県内の歯科医師会を回り、広く連盟推薦候補者と訪ね、先生・ご家族・ス

自由民主党の支持を訴えられた。石井みどり議員ご本人は、わずか4日間で150箇所以上の歯科医師会を訪ね、先生・ご家族・ス

- 7月21日(火) 東広島支部
- 7月22日(水) 広島市・安佐支部
- (代理:浅井秘書)
- 7月24日(金) 安芸支部
- 7月27日(月) 大竹・佐伯支部
- 7月31日(金) 呉支部

第45回衆議院議員総選挙 自民党惨敗・政権交代!

第45回衆院選は8月30日(日)投票、即日開票された。自民党は119議席の獲得にとどまり歴史的惨敗に終わった。民主党が全議席の3分2以上にあたる308議席を獲得したのに対し、自民党は大幅に議席を下回る結果となった。

- 1区は、自民党前職の岸田文雄氏が民主党新人の菅川洋氏に辛勝。
- 2区は、自民党前職の平口洋氏が民主党比例前職の松本大輔氏に議席を奪われた。
- 3区は、自民党比例前職の増原義剛氏が民主党新人の橋本博明氏に敗れた。
- 4区は、自民党元幹事長で前職の中川秀直氏が民主党新人の空本誠喜氏に敗れた。
- 5区は、自民党前職の寺田稔氏が民主党比例前職の三谷光男氏との接戦に敗れた。
- 6区は、自民党新人の小島敏文氏が国民新党前職の亀井静香氏にすんなり11選目を許した。
- 7区は、自民党前職の宮沢洋一氏が民主党前職の和田隆志氏に敗れた。

尚、比例区で自民党前職の中川秀直氏と自民党前職河井克行氏が当選した。衆院選の最終的な投票率は69.29%となった。小選挙区比例代表並立制度が導入された1996年以降5回実施された衆院選で最高となり有権者の関心の高さが伺える。

編集後記

政権交代して景気後退では洒落にもならない。百年に一度の大不況の中、長年続いた自民党から民主党への政権交代時代の大きな節目にきたと感ずる。激動の時代の中で連盟の舵取りも難しい局面になってきたと感じるのは私だけではないと思う。未来ある歯科界の為によい選択をお願いしたい。(泰)